



かがやく麻生中



令和8年4月28日発行
(第69号)
行方市立麻生中学校
住所:行方市南327-3

自分の思いや考えをよりよく表現し課題解決できる(語り場 学び場 麻生中)

～1学年宿泊学習～

4月30日(木)～5月1日(金)1年生が小見川青少年自然の家において宿泊学習を実施します。ウォークラリー、モルック、カヌー、プラネタリウム、カレーづくり等、多くの体験活動、集団活動をとおして、社会性や人間関係づくりを学ぶことが大きな目的です。生徒は、話し合い役割を分担し生徒が生徒へ説明する「ガイダンス機能の充実」を図りながらリーダー、サブリーダー、フォロワーとしての役割を果たしていきます。多感な中学校時代です。今後、多くの困難や心配事が予想されます。多様な経験を積み重ねて、たくましく、しなやかに未来を切り拓ていく生徒を育成してまいります。



今後ともに、社会的に自立していくお子様の姿を温かく見守っていただけると幸いです。

～あいさつ～

登下校時にあいさつをかわします。2m先から「おはようございます」とあいさつする生徒、近くで目を合わせてあいさつする生徒、会釈をするとあいさつする生徒、「おはようございます」とあいさつするとあいさつする生徒、小さな声であいさつする生徒、大きな声であいさつする生徒、声にならないものの笑顔で会釈する生徒、横断歩道で停止した車に一礼する生徒、手を上げると手を上げ返してくれる生徒、背中に向けてあいさつしてくれる生徒、あいさつは多種多様、一人一人違います。一人一人違っていても、応答しようとする姿勢は素晴らしいです。あいさつはどんな多様な形態であれ、コミュニケーションのきっかけです。

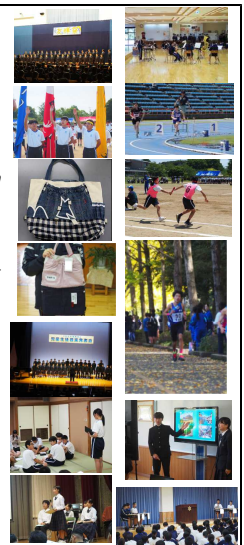


3年生になると、「今朝は少し、寒かったね」と話しかけると「そうですね 寒かったですね。でも、午後から暑くなるって天気予報で言っていました」というような対話となってきます。この短い応答の中には、相手の話を受け入れる「受容」そして、同じような感覚となる「共感」があり、話をつなぎ広げようとする姿があります。

この短い対話の中に本校が大切にしている「聴き合う関係性」「聴く つなぐ もどす」が凝縮しています。過日、授業参観で見ていただきました「麻生ボックス」も、「聴く つなぐ もどす」という手法をとおして、本校の目標「自分の思いや考えをよりよく表現し課題解決できる生徒の育成」の達成を目指していきます。繰り返しになりますが、その基盤は「聴き合う関係性 多様性の尊重 人権意識」です。「寒いねと話しかければ寒いねと応える人のいる温かさ」そのような学校づくりを目指してまいります。

～3C～

3C「CHANCE(チャンス) CHALLENGE(チャレンジ) CHANGE(チェンジ)」は、昨年度「学校だより」において掲載した言葉です。大きな自己変革、自己成長にとって、挑戦することは大切であるということです。麻生中学校の生徒は、学習、部活動、行事、生徒会等の活動や役割に挑戦し自身のよさや強みを伸ばし成長しています。令和8年度も「課題解決発表会 友輝祭 体育祭 英語プレゼンテーションフォーラム 科学の甲子園 いばらきっ子郷土検定 陸上 駅伝 総体 新人戦等」自身を成長させる多様な機会や場面があります。今年度も5月12日(火)の県東地区陸上へ挑戦した生徒がいます。すでに10月20日の県東地区駅伝に向けて練習している生徒がいます。昨年度の修了式においてある生徒が「自分は苦手だった英語の授業に一生懸命、粘り強く挑戦した。その結果、英語力をもっと伸ばし英語を生かした職業に就きたいと考えている」と話しました。



今年度の友輝祭(文化祭)は、「多様な輝きを よさを可能性を 今ここに」をテーマの一つとして掲げ、合唱コンクールとともに展示や学習発表等を実施し、聴き合う関係性を基盤として、3C「CHANCE(チャンス) CHALLENGE(チャレンジ) CHANGE(チェンジ)」を目指してまいります。

「時を守り、場を清め、礼を正す」

毎日、生徒登校前に正門周辺を掃除し、場を清め、生徒を迎え入れています。その姿は生徒のモデルとなり清掃活動の充実につながっていきます。

